

JAしまねびより 11

2017

November Vol.20

特集 島根のいいもの再発見!! 「海士町 みかん」 隠岐どうぜん地区本部



Naomichi



煖火神社(隠岐郡西ノ島町)

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



みかん作りのために1ターンしてきた丹後さん(右)と白石さん

【海士町 みかん】

11月は、隠岐どうぜん地区本部。海士町の最南端に位置する崎地区へ1ターン、みかん栽培の再生に挑戦している、丹後貴視さん、白石宗久さんにお話をお伺いしてきました。



潮風いっぱいを受ける丘陵地に定植された島育ちの苗

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

崎地区のみかん再生とは、 どういうものですか？

崎地区では昭和30年代からみかんの生産が始まり、最盛期の40～50年代には生産者十数人で10ヘクタールを上回る栽培面積で生産、おもに隠岐郡内で販売されていました。崎地区は、海に面して日当たりも良く、甘みと酸味のバランスの取れた美味しいみかんが実り、通称「崎みかん」として住民からずっと愛されてきました。しかし外国産オレンジの台頭や栽培農家の高齢化・後継者不足等で、50～60年代に多くの農家が生産を辞め、みかん畑には杉や松(ひのき)が植林されました。近年は高齢の生産者4人、栽培面積0.4ヘクタールまで減少し、崎みかんは消滅の危機にありました。こうした状況の中、海士町が地域起こし協力隊の制度を活用し、みかん農家を募集。私たちはそれに応募、1ターンしてきました。海士町の皆さんはもともと、みかんが大好きで、食べたいという要望も多いことから、平成25年に「崎みかん再生プロジェクト」

収穫できるみかんの木は現在、引き継いだ約1ヘクタールの畑で100本、年間8トン前後収穫しています。プロジェクトがはじまって、平成26年に400本、27年1,200本、28年1,800本を定植しました。おもな品種は昔から育てられてきた興津早生(おきつわせ)です。現在は2カ所で栽培面積延べ4ヘクタール、合計約2,800本の苗木が育っています。みかんは苗木を植えてから3年で実がなることから、順調に進むと平成32年の東京オリンピック時には現在の3倍程度の収穫が期待できま

現在はどのような状況ですか？



崎みかんの再生は島でも注目のプロジェクト

として活動を開始しました。

す。最終的には定植した本数で、100トン前後の収穫量を目指しています。



日本海を見下ろす南向きの斜面に広がるみかん畑

みかん栽培をはじめて大変なことなどありますか？

まず何よりも大変だったことは、はじめての就農ということに加え、みかん栽培自体、右も左も分からない状態からスタートしたことです。

当初、瀬戸内海の大崎上島（おおよそかみじま）へ栽培技術研修に2週間あまり行き、その後もアドバイスをいただいています。土壌環境や気候も違います。生育させるため、何が正解で、何が間違っているのかもわかりませんでした。夏場の草刈りが特に大変で



みかん作りの魅力や課題を熱く語る白石さん

ですが、いつ刈ったら良いか、どれくらい草が伸びたら刈れば良いのか、どれくらいのか、サイクルで刈れば良いのか、試行錯誤しながら一歩一歩、少しずつ経験を積んで前に進んでいます。隠岐牛の牛糞を活用した堆肥（たいひ）や、冬場の防寒対策として木の根元に海藻やウニの殻などを敷き詰めたり、ワラで作った衣を被せたりと、昔ながらの島の知恵を地元の方から教えても



昔ながら島ならではの工夫を聞き、取り入れ、実践

らい実践しています。移住し就農してからざっと5年になりましたが、正直、こんなに大変だとは思いませんでした。ただ、海士町役場、JAしまね、地域の皆さん、色んな人達が親身になって明るく協力してくださり、支えてくださるので、使命感が湧き続け、大変ながらも楽しく、とてもやりがいを感じています。



みかん作りの拠点となる「旧崎小学校」

今後の抱負や展望を聞かせてください。

苗木を大切に育てながら、なるべく早く生産体制を確立し、収穫量を増やしていきたいです。まずはお世話になった地域の皆さんに復活した「崎のみかん」をたくさん食べていただきたい。収穫規模が拡大すれば将来的には人員も必



みかん畑は、誰でも入りやすい環境を目指して整備が続けられている

要となってきました。そのため、女性でも就農できる体制作りにも力を入れ、急斜面に木が立ち並ぶのではなく、段差をなるべく緩くして働きやすい農場作りにもこだわっています。島の皆さん、島根全体、県外への出荷へと、この昔懐かしい美味しい「崎のみかん」を多くの方に味わっていただきたいと夢を描いています。



みかんを収穫する島の子どもたち

海士町 みかん 一口メモ

みかんは冬でも葉をつけている常緑樹で、生産は気候に大きく左右される。年間の平均気温が15℃以上で、最低気温マイナス7℃が限界とされる。和歌山や愛媛、静岡などで盛んに生産されている。海士町の崎地区は冬場マイナス6℃まで気温が下がり、販売目的のみかん栽培では、日本最北端の地と言える。海士町の中でも崎地区は冬と夏の気温差が激しい。厳しい環境の中でたくましく育ったみかんは、薄皮で身が詰まっており、甘みと酸味のバランスが絶妙で美味しい。



雲南

大人気の加工餅 製造ピークを迎える

雲南地区本部の人気商品の1つ「仁多もち」「飯南もち」の製造が最盛期を迎えました。祭事や年末年始用の「ひかり餅」と「粉餅」を製造しており、子どもからお年寄りまで味わえる「こだわりの味」を届けています。

同地区本部では、奥出雲もち加工場と頓原もち加工所の2か所でもち加工を行っており、9月から来年3月頃までに年間300トンの製造を見込んでいます。

この加工餅のこだわりは「搗(つ)きたて、杵つき」製法。精米したての管内産もち米を100%使用し丁寧に搗きあげられた餅は、食べた時の滑らかさやほど良い粘りと歯切れが特徴。管内のAコープ店舗や産直の他にも、関東・関西地方の百貨店やスーパーなどでも販売しています。

同地区本部営農部農産加工課の福田忠課長は「生産者の思いがこもったもち米を、自慢の製法で加工している。こだわりの餅を皆さんにお届けしたい」と話しました。



袋詰めされた餅を箱詰める職員

くにびき

八雲農縁隊が休耕田の草刈り

農家が抱える課題の解決に取り組む「八雲農縁隊」が10月11日、八雲町内にある休耕田の草刈りを実施しました。メンバーは自前の草刈り機で手際よく雑草を刈り取りながら、汗を流しました。

同隊は、八雲支店運営委員会(山根盈樹委員長)のボランティア活動の一環として、平成25年に発足。農家の高齢化が進み、維持管理が難しくなった農地が増える中で、地域住民から「何とかしてもらえないか」との要望を受けて結成されました。「地域との縁を結ぶ」という思いを込めて、農縁隊と名付けて、同町内を中心に草刈りなどの活動を展開しています。

当日は、運営委員と支店職員ら6人が参加。約35アールの休耕田のあぜ道には、セイタカワダチソウやススキなどの雑草が生い茂っていましたが、2時間ほどで全ての草を刈り終えました。山根委員長は「草刈りをしてほしいという要望が増えている。他の組織との連携を模索しながら、現在の活動内容を見直さないといけない」と話しました。



雑草を刈っていく農縁隊のメンバー

隠岐

隠岐のこだわり米 「島の香り隠岐藻塩米」

隠岐地区本部では、隠岐の島町産のこだわり米「島の香り隠岐藻塩米」のブランド化に向けて、生産者と一緒に取り組んでいます。

この米は、平成15年からコシヒカリでの試験栽培を経て、現在は首都圏を中心に出荷し、また地元の飲食店などへも供給。平成25年からは、こだわりのお米屋さん「(株)スズノブ」の西島豊造社長、「(株)はくばく」和穀の会事業部の方々にアドバイザーとしてご協力いただき、本年度は18人の生産者が約40ヘクタールのほ場で栽培しています。

現在は、より高いレベルでの品質の統一や食味の平準化を進めるため、肥料の無償供給やライスセンターでの全量最終調整の採用など、これまで以上の品質で消費者へお届けできるよう取り組んでいます。

平成28年からは、安定して高品質な「きぬむすめ」での藻塩米栽培も本格化しており、本年度は3人の生産者が「美味しまね認証」を取得し、1.95mmふるい目を使用した「島の香り隠岐藻塩米特選きぬむすめ」として1,049袋を出荷しました。



やすぎ

やすぎ恋花まつり開催

やすぎ花卉部会は10月7・8日の2日間、安来市中海町の道の駅あらエッセで「やすぎ恋花まつり」を開催し、生産者が市内外にやすぎの花をPRしました。安来市は県内有数の花の産地で、同部会では72戸の農家が生産に当たっています。

イベントでは、安来産の色とりどりの花を使ったフラワーアレンジメントやDIYガーデニングの無料体験、地元幼稚園・保育園児が描いた花の絵展示、消費者による花の人気投票など、華やかな会場に多くの人々が訪れました。アレンジメントに参加した児童は「去年も参加したけど、きれいなお花をいけることが出来て楽しい」と話しました。

同部会の小池隼己部会長は「今後も花の品質向上を図りながら、イベント等を通してやすぎの花の知名度アップと消費拡大を目指していきたい」と意気込みました。



斐川

JA女性部が 園児たちと芋ほり体験

10月10日、JAしまね斐川女性部は食農教育の実践として、東部保育園、荘原保育園、荘原幼稚園の園児たちを招き、5月に一緒に植えたサツマイモの苗「紅はるか」700本の収穫作業を行いました。当日は天候に恵まれ、秋晴れの下、女性部と園児たち合わせ総勢100人での作業となり、大変にぎやかな芋掘りとなりました。

今年は芋の出来が良く、大きいものが多く、園児たちも笑顔で収穫し「見て見て～、大きな芋が採れたよ」「自分の顔と同じくらいだね」と喜んでいました。収穫を終えた後で、園児たちは女性部が用意した蒸かし芋を美味しく食べていました。収穫した芋は保育園、幼稚園に配られ焼き芋にされる他、女性部の活動にも利用される予定です。



収穫した芋を前に記念撮影

石見銀山

女子大・シニア講座が 米検査見学

石見銀山地区本部のJA女子大学とシニア講座菜根館(さいこんかん)の受講生30人が、10月12日に地域の米作りについて学びました。

一同はJAの米倉庫(大田市久手町刺鹿)で、当日出荷された米の検査に立ち会い、ライスセンターを見学。案内役の農産課吉川崇課長から説明を聞いた後、検査員が無作為に米を抜き取り、米の状態を目視で確認し、等級をつける作業を見学しました。見学後は地区本部に帰り、JAしまね石見銀山女性部フレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」が準備した、「つや姫」のおむすび、豚汁で昼食をとりました。

JA女子大学とシニア講座菜根館では、JAの基幹的作物である米について学ば講座を毎年のカリキュラムに入れていきます。普段一般公開していない米検査の様子やJAの米倉庫内を見学することが、地元産米のファン作りにも一役買っています。



検査の様子を見る参加者

隠岐
どうぜん

家の光クッキング・フェスタ ～伝えたい島の味・ふるさとの味～

隠岐どうぜん地区本部は海士町中央公民館で10月22日、同地区本部管内では初めてとなる「家の光クッキング・フェスタ」を開催しました。

「島外から来ている高校生に、女性部と一緒に調理して島のおいしい味をおぼえて帰って欲しい」という扇谷光恵女性部長の願いにより、隠岐島前高校の寮生にも参加してもらいました。

料理研究家の枝元なほみ先生の指導により、前日から準備した地元食材をたっぷり使った先生考案のレシピ4品と、寮生考案のレシピ1品を作りました。また、米消費拡大運動「ニコニコおむすび大作戦」の一環として「隠岐牛むすび・乾燥ワカメのふりかけおにぎり」の2種類を作り、とても美味しいとの声がありました。

そのほか、枝元先生による「種子法廃止 タネがあぶない ～日本の食と農を守ろう」と題した講演や、家の光の読書会も行い、台風接近で悪天候の中でしたが、笑顔で元気になった一日でした。



出雲

島根きのご祭り初開催

島根きのご生産振興会は10月15日、出雲市のラピタ本店で、「島根きのご祭り」を開きました。同会から(有)奥出雲椎茸、田中しめじ工場、JAしまね出雲しいたけ部会が出店し、菌床生しいたけや舞茸、しめじなどを販売。県産の各種きのごを使用したきのご汁の販売や、きのごの展示なども行われました。

同会は県産きのごの増産、品質向上などを目的に平成25年に発足。県内の生産者15団体で構成されています。一堂に会し消費者へPRするイベントとして、きのご祭りを今回初めて企画しました。県林業課統括林業普及員の杉原雅彦さん(同会事務局)は「振興会があることを皆さんに知っていただき、県産きのごをPRしていきたい。第1回が開催できたので、今後も継続していきたい」と話しました。

当日は試食販売も行われ、しいたけや舞茸が焼ける香ばしい匂いに多くの人が集まりました。また、しいたけマスコットキャラクターの「サンマッシュくん」も登場し会場を盛り上げました。



各団体が試食販売でPR

西いわみ

西いわみメロン部会 「アールス初出荷」

西いわみ地区本部では10月9日、秋作のメロン「アールス」の出荷が始まりました。

特産のアムスメロンや春作トマトの後作として栽培しており、7月上旬から中旬にかけて種をまき、7月下旬から8月中旬に定植したものが収穫期を迎えました。

同地区本部の営農経済部担当者は、「定植期からの天候に恵まれ、玉太りやネット張りは上々の出来となった」と話しました。

当日は益田市飯田町のJA多品目選果施設の12戸の農家が950箱（一箱8キロ）7.6トンのアールスメロンを持ち込みました。

出荷は11月上旬までの約1ヶ月、主に大阪市場へ出荷します。JAでは今年度の計画を出荷量132トン、販売金額を6,200万円としています。



島根おおち

「ふれあい農園」芋掘り交流会

島根おおち青年連盟、女性部、島根おおち地区本部の3者が協力し、10月10日、邑南町中野地区の「ふれあい農園」で保育園児を対象に芋掘り交流会を開催しました。管内10保育所から園児112人が参加し、青年連盟が園児らと共に6月に植えたサツマイモを収穫し、女性部が昼食会を開きました。

今年は、夏場の天候が良かったことから生育が良く、サツマイモが大きく育ち、園児らは、盟友の手を借りながら力いっぱい掘りました。昼食会では女性部員が、収穫したサツマイモを使って、サラダや団子汁などを作りました。また今回は同地区本部で生産している石見高原ハーブ米の新米を用意し、ラップに包んだご飯を音楽に合わせておにぎりにしました。

青年連盟の玉川幸司委員長は、「芋ほり交流会は今年で13年目を迎えました。今後も青年連盟、女性部、JAが協力し、子どもたちが土に触れ、野菜について知る機会を提供することで、地元の作物を知り、農業の良さを伝えていく活動を進めていきたい」と話しました。



昼食会でメニューについて説明する女性部員

本店

しまね子育てフェス inいわみ開催

JAしまねは10月28日、浜田市金城町のふれあいジム・かなぎで「しまね子育てフェスinいわみ」を開きました。JAの利用者だけではなく、幅広く地域の皆さまの子育てを支援することを目的に開催。今年2月の松江市くにびきメッセでの開催につづいて2回目となります。台風が近づく中、雨模様での開催でしたが、約8,000人の親子連れに会場いただきました。

メインステージでは、アンパンマンや仮面ライダー、プリキュアのステージショー。イベント会場では、輪投げやシューティングビンゴなどの縁日コーナー、ミニ新幹線やトイレールなどのアトラクションを行い、会場は子どもたちの歓声でとても賑わいました。

JAでは今後もこのようなイベントの開催などを通じて、出産・育児の支援や地域貢献の取り組みを行ってまいります。



縁日コーナーで遊ぶ子どもたち

いわみ中央

地元の食材で秋を満喫

JAしまねいわみ中央女性部弥栄（徳田マスエ部長）は10月11日、浜田市弥栄町長安本郷にある林友館で1日農家レストランを開きました。

バイク方式のランチに、地元の住民はもとより、多方面からも来場されて会場はいっぱいになり、約100人が秋を満喫しました。

徳田部長は「本日の農家レストランは、地元の食材がほとんどで、収穫した野菜やお米そして、山菜もすべて女性部が育てたものです。田舎料理をどうぞゆっくり召し上がってください」と挨拶しました。

秋の食材をふんだんに使い、黒米おはぎやごみ酢味噌和え、そうめん瓜やさつま芋の天ぷら、手作りこんにやくの田楽など珍しいメニューが並びました。来場者は「毎年農家レストランを開いてほしい。田舎料理が食べられて嬉しい」と話し、大好評でした。



ぎゅ〜っ と根 島大産直市 2017

12月9日(土) くにびきメッセ 多目的ホール 9:30~15:00

駐車場 旧県立プール跡地広場 (約340台)

生産者&JAが
島根農業の
魅力を伝えます♪

飲食スペース
をご用意
いたします!



島根県5高校による
“えんむすびショップ”

松江農林高校、出雲農林高校
邇摩高校、矢上高校
益田翔陽高校

着先200名様

アンケートに答えて
“たまご”をもらおう!
たまごの販売もあるよ!

杵つき餅
実演販売



地産地消の
あったか〜い
“とん汁”販売
1杯100円
11:00~
(開始予定)

島根県産
牛乳の
試飲コーナー

【協賛出店】
■島根ワイナリー ■JAアグリ島根

〈お問い合わせ先〉

JALしまね営農対策部担い手対策課 0853-25-8142

JAバンク
マスコットキャラクター



©ちよリス

〜担い手農家とTACがつくる島根の農業〜

同時
開催



アグリミーティング 2017 in くにびきメッセ

会場: くにびきメッセ 大展示場 9:30~15:00

主催: JALしまね JA全農

※記載の催しの内容および開催時間等は予告なく変更となる場合がございますので予めご了承ください。 ※記載のイラスト等は全てイメージです。

隠岐農産物生産者協議会の会員募集について

J Aしまね隠岐地区本部では、経済課で「隠岐農産物生産者協議会」の事務局を担っています。

今回は取り組み紹介と会員の募集に関する周知をさせて頂くこととしました。

生産者協議会は現在「野菜部会」、「椎茸部会」、「花卉部会」、「果樹部会」の4つの部会で構成され、9月末現在で81名の会員がいます。

作物毎に部会を組織することで、栽培技術の向上や先進地視察、農薬の適正使用などの研修会の実施、また収穫したものの委託販売や学校給食への食材供給に関することにも取り組んでおり、また隠岐産品にこだわった直売所「あんき市場」の会員であることから、農産物について地産地消に貢献しています。

しかし以前は100名超の会員が在籍していましたが協議会も会員が減少傾向にあります。この度新規会員を募り、更なる地産地消の推進、生産の拡大、隠岐産品の品質向上に取り組んで行こうと考えていますので、農産物を生産される皆様のご加入をお待ちしております。

興味がある、また詳しく聞きたい方などおられましたら、J Aしまね隠岐地区本部経済課 ☎2-1133 までお問い合わせ下さい。



野菜部会の島外視察



8月の販売イベントの開催



椎茸部会の全国品評会への参加

平成29年産米集荷対策奨励金について

平成29年産米の出荷（加工用米除く）に対し、平成29年12月15日（金）集荷日までの出荷分に対し、平成28年度業績還元資金及びJ A共済地域・農業活性化施策助成金を活用し、30kg当り200円の米集荷対策奨励金を平成29年12月25日（月）にお支払い致します。

平成29年産米集荷状況（平成29年10月24日現在）

品 種 名	予約数 (袋)	出荷数 (袋)	等 級			1等米 比率	集荷率
			1等	2等	3等		
コシヒカリ合計		8,645	7,263	1,356	26	84.0%	91.9%
コシヒカリ(通常)		5,546	4,220	1,300	26	76.1%	
ハデ干し	9,408	290	234	56		80.7%	
一般藻塩米		1,353	1,353			100.0%	
特選藻塩米		1,456	1,456			100.0%	
きぬむすめ合計		3,016	3,016	0	0	100.0%	
きぬむすめ	4,655	1,967	1,967			100.0%	
きぬ特選藻塩米		1,049	1,049			100.0%	
つや姫	1,015	755	658	97		87.2%	74.4%
五百万石	811	782		767	15	0.0%	96.4%
神の舞	168	169		31	138	0.0%	100.6%
山田錦	200	0					0.0%
もち米	138	97		50	47	0.0%	70.3%
うるち米計(抜粋)	15,078	12,416	10,937	1,453	26	88.1%	82.3%
総合計	16,395	13,464	10,937	2,301	226	81.2%	82.1%

※加工用米は含まない

営農情報

平成29年度水稲情勢

平成29年産水稲は、田植え時期は水不足、また春先の生育は初期の低温により株数も少なめに推移するなど心配していましたが、台風などの影響もほとんどなく、また収穫前に水が十分あったことから収量は若干少ないものの品質は全体に高い

傾向にありました。

10月24日現在で集荷率は82・1%、うるち米の1等米比率は88・1%で、コシヒカリはハデ干しを、また大型農家のきぬむすめと一部酒米を集荷すれば概ね今年の集荷が終了する予定です。

また、来年の作付に向けて、1月下旬から2月上旬を目途に水稲出荷者を対象とした栽培研修会を開催しようと考えていますので、その際には多数ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

(報告／経済部)

JANNEWS

園児・児童による脱穀の体験作業

10月27日に、下西地区で脱穀の体験作業が実施されました。

今回参加したのは、下西保育所の年長組11名、磯小学校の5年生児童が12名で、それぞれの場所で午前、午後に分けて実施されました。今回脱穀する稲は5月22日に体験授業で田植えを、10月4日に稲刈りし、保育所は敷地内のフェンスに、小学校はうんていに干していた稲で、指導役の生産者がそれぞれの場所にハーベスタ(脱穀機)を持ち込み、子供達と一緒に脱穀作業をしました。子供達も脱穀するのを見るのは初めてのようで、興味津々に見入ったり、張りきって作業のお手伝いをしていました。

今回脱穀したお米は、保育所は地域の方々と収穫祭を行い羽釜で炊いて食べ、小学校は磯小祭りでおにぎりを作り皆で食べる予定とのこと。 (報告／経済部)



西郷家畜市場

11月1日（水）、今年3回目となる西郷家畜市場が開設されました。

今回は、子牛117頭、成牛3頭が上場され、子牛は平均単価が前回より17,000円低い623,000円で取引されました。価格的には、

昨年までは高値が続いていますが、今年は軟調傾向ではあるもの



子牛（単位：円）

性	入場頭数	取引頭数	1頭当価格			平均体重	1kg単価	平均日齢	前回比	前回
			最高	最低	平均					
♀	41	39	725,760	289,440	574,671	192	2,987	207	-22,869	597,540
♂	2	2	638,280	589,680	613,980	156	3,936	130	-1,620	615,600
去	74	70	799,200	333,720	647,630	223	2,901	219	-18,867	666,497
計	117	111	799,200	289,440	621,389	211	2,943	213	-19,521	640,910
再	4	4	702,000	600,480	665,010	240	2,771	235	0	631,954
計	121	115	799,200	289,440	622,906	212	2,936	214	-17,424	640,330

成牛（単位：円）

性	入場頭数	取引頭数	1頭当価格			平均体重	1kg単価	平均日齢	前回比	前回
			最高	最低	平均					
♀	3	3	144,720	65,880	117,360	496	237		-140,112	257,472
計	3	3	144,720	65,880	117,360	496	237		-140,112	257,472
再										
計	3	3	144,720	65,880	117,360	496	237		-140,112	257,472

の、依然素牛の不足傾向は変わらず今年も高値で取引されることが予測されることから隠岐の島町の畜産農家はまだまだ活気に溢れています。有木の「島後畜産センター」では、これまで約半世紀に渡り市場が開設されてきましたが、来年の3月市場が終われば現在岬地区で建設中の旧隠岐空港ターミナルを利用した新センターでの市場開催となります。

今後も、新たな畜産センターを活用し優良牛の生産に努め、農家・行政・JAと協力し隠岐の島の畜産業活性化に取り組んで参ります。

（報告／経済部）

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想を紹介いたします。たくさんのお便りお待ちしております。

・家庭菜園記事のタマネギ苗の上手な植え付け法を参考にし、大きいタマネギに挑戦します。いつもありがとうございます。（中村・Iさん）

・クロスワードを毎回楽しみにしています。（原田・Yさん）

・畑を少しやっています。家庭菜園記事のコーナーがとても参考になります。また、クロスワードも毎回楽しみにしています。（原田・Yさん）

・31日にハロウィン！かぼちゃグラタン作ってみようと思っています。（港町・Mさん）

・カーブミラーの贈呈がJAだったと最近わかり、役立つことと思います。（上西・Fさん）

・広報誌10月号の荒神谷遺跡の紹介、スケールの大きさに驚きます。荒神谷資料館を見学したいです。（上西・Hさん）

・広報誌10月号の営農技術情報で薬剤や肥料の紹介がとても役に立ちました。（岬町・Mさん）

・しまね「う」れしび記事がいつも参考になります。（栄町・Mさん）

・初めてクロスワード応募します。クロスワード楽しいです。（西町・Nさん）

【お便り募集中】
本誌「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。
本誌「JAしまねびより」またJAに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

生徒募集

J A女子大学 隠岐キャンパス開講



J Aしまね隠岐地区本部では、管内の女性を対象に継続的な学びの場を提供することで、「次代の女性リーダー」を育成することを目的に「J A女子大学 隠岐キャンパス」を開講いたします。つきましては、平成30年1月の開講に向けて生徒を募集いたします。

入学を希望される方は、隠岐地区本部 各支店窓口に入學願書を備え置いていますので、必要事項をご記入のうえ**12月22日(金)**までに隠岐地区本部各支店までご提出ください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 第1期 JA女子大学隠岐キャンパス カリキュラム ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

回	開催月日	単位	講 座	場 所	内 容
1	≪平成30年≫ 1月 9:00~12:00	2.0	入学おめでとう 入学式	隠岐 地区本部	開講式・オリエンテーション
2	3月 9:00~12:00	2.0	ジオパーク研修会	現 地	隠岐ジオパークを講師と共に現地にて研修します。
3	5月 9:00~12:00	2.0	料理教室	隠岐島 文化会館	藻塩を使つての特産品づくり。
4	7月 9:00~12:00	2.0	家庭菜園教室	隠岐 地区本部	プランターで野菜を作ってみましょう。
5	9月 9:00~12:00	2.0	健康講座	隠岐 地区本部	健康づくりについて勉強いたします。
6	11月 9:00~12:00	2.0	そば打ち体験	隠岐島 文化会館	地元そば粉を使用しそば作り体験をします。
7	≪平成31年≫ 1月 9:00~12:00	2.0	マネープラン	隠岐 地区本部	公的年金の基礎知識などについて学びましょう。
8	3月 未定	2.5	日帰り修学旅行	島 内 外	受講生の希望を取り入れて行き先を決定します。
9	5月 9:00~12:00	2.5	農業体験実習	現 地	農業に親しみましょう。
10	7月 9:00~12:00	2.0	お付き合いマナー	隠岐 地区本部	冠婚葬祭などの基本的なマナーについて学びます。
11	9月 9:00~12:00	2.0	茶道	隠岐島 文化会館	日常にも役に立つ「お茶の基本」について学びます。
12	11月 9:00~12:00	2.0	卒業おめでとう 卒業式	隠岐 地区本部	修了証書授与式・会食

講義内容・日程・講師・会場など変更になる場合がありますがご了承ください。

募 集 要 領

- ★**入学資格** 隠岐の島町在住の女性（年齢は問いません）
- ★**入 学 金** 5,000円（受講料を含みます。）
※但し講座によっては、材料費、旅費など実費負担があります。
- ★**期 間** 平成30年1月～平成31年11月
※2年間を通じて20単位以上の履修で卒業とします。
- ★**定 員** 30名（定員になり次第締め切ります。）
- ★**申込方法** 「入学願書」に必要事項をご記入の上、お近くのJ A支所窓口へお届け下さい。入学の可否については後日ご連絡致します。
- ★**募集締切** 平成29年12月22日
- ★**そ の 他** ≪聴講制度について≫
学生以外の方でも、1講座1,000円（講座によっては別途実費が必要）で参加することができます。参加募集については、各カリキュラムの開催日が近づいた頃に広報誌にてご案内します。

問い合わせ先 J Aしまね 隠岐地区本部 管理部 / TEL 08512-2-1131

ハクサイ の 上手な貯蔵方法

板木技術士事務所 ● 板木利隆

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度畑に残して順次収穫し利用したいものです。

この場合、畑でそのままにしておくと、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉がカサカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなります。防寒対策を施して長い間利用したいものです。

一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少ししおれかけた外葉を球の頭上に4~5枚覆いかぶせておくことです。少ししおれかけていた方が球になじみやすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にある程度長く置く場合は、なるべく多くの外葉で球を包むようにして、ポリテープや細縄などで縛っておきます。元気が育つと葉折れがひどく、作業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

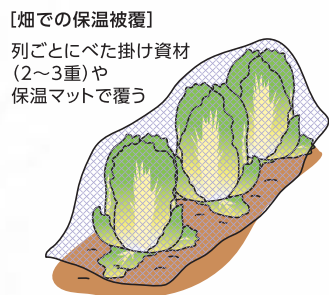
相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材（長繊維不織布、割繊維不織布）を広げて、頭上に2~3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまいますので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として困り貯蔵法

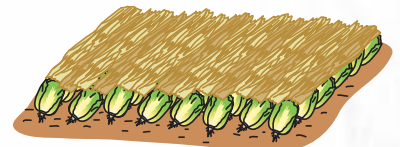
があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの保温材で覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配意します。この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。

いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。

収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。



【畑でまとめて貯蔵(約2カ月)】
根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



【家庭での簡易貯蔵(約1週間)】
新聞紙にくるんで冷暗所に。頭を上に向けて

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

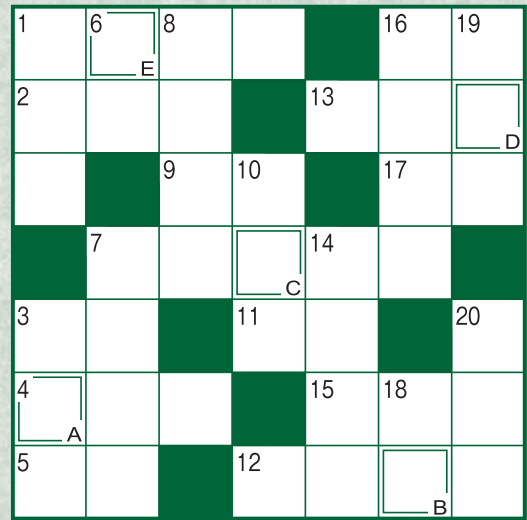
タテのカギ

- ① 2人組はコンビ、3人組は—
- ③ 親同士がいとこです
- ⑥ —に交われれば赤くなる
- ⑦ 「おはよう」とか「さようなら」とか
- ⑧ コロンブスはインドを目指して—を続けました
- ⑩ カカオ豆から作る飲み物
- ⑫ サンタクロースが乗ったそりを引きます
- ⑬ ブーケともいいいます
- ⑮ 太陽が沈むとやってくる
- ⑯ 進化の反対語
- ⑰ 人の言葉をまねるのがうまい鳥。—返しに答える

ヨコのカギ

- ① 大みそかには—そばを食べる人も多い
- ② 英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- ③ 物を燃やすと残るもの
- ④ 鶏の頭の赤い冠
- ⑤ 何度も練習して、ようやく—をつかんだ
- ⑦ 「山!」「川!」
- ⑨ 現在よりも前です
- ⑪ 庭に掘りたがる犬もいます
- ⑫ デジタルカメラには装填(そうてん)しません
- ⑬ 少年剣士たちが振る物
- ⑮ 月曜と水曜の間
- ⑰ お子様ランチに立てられていることも
- ⑱ 狩りにも使われる鳥

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
平成29年12月5日(火)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「コハルビヨリ」

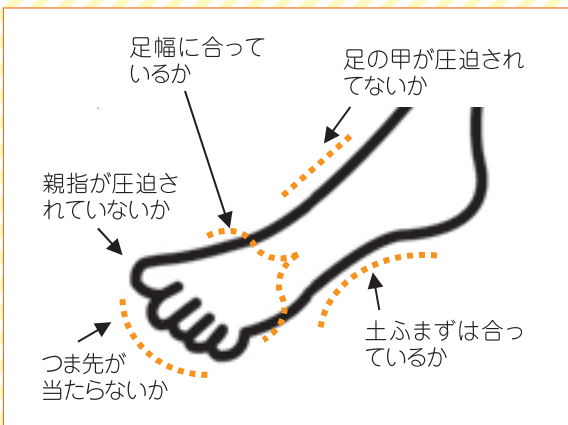


・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

正しい靴選び

「足は第二の心臓」と言われていることをご存じですか? 足は歩行や運動をすることで筋肉を動かし、血液循環を促進させて足の裏まできた血液を全身に送り返すポンプのような役割をして心臓の動きを助けています。元気な体をつくるうえでも、歩行や足の運動は大切なポイントです。しかし、足に合わない靴は、足・膝・腰の痛みや、転倒の原因になることもあるため、正しい靴選びは重要です。つま先の細いハイヒールを長期間はいて外反母趾になったり、タコやウオノメ、扁平足、巻き爪になったりすることもありますから、足に合った靴を履くことで足の変形を予防することができます。

一般的に靴選びで大切な事は、つま先に余裕があり、足の甲はひもやファスナーなどで調節できる事、踵は包み込むようにしっかりと固定できる事、靴底の踵部分は幅広で安定している事などです。また、適切な中敷を選ぶことにより外反母趾やO脚による膝の痛みを和らげることが出来る場合もあります。



理事会情報 (9月28日開催)

協議事項

- ① 生産資材価格低減プロジェクトの取りまとめについて
- ② JAしまね内部統制整備方針設定について
- ③ 場所別部門別損益管理の統一基準について
- ④ 平成30年度事業計画の基本方針とスケジュールについて
- ⑤ 自己改革・組合員対策に関する今後への取り組みについて
- ⑥ 地区本部運営委員会運営規程の一部改正について
- ⑦ 文書取扱規程の一部改正について
- ⑧ 諸規程類管理規程の一部改正について
- ⑨ 「合同会社アグリサポートおーなん」への外部出資について

報告事項

- ① JAしまね農業振興支援事業のPR方法について
- ② 県への農業政策および予算に関する要望書の提出について
- ③ 平成29年度山陰ブロックTACパワーアップ大会発表大会の結果について
- ④ 西条柿共同利用施設の広域利用および

その他

- ⑤ 地区本部間連携について
- ⑥ 米穀園芸情勢について
- ⑦ 畜産情勢について
- ⑧ 平成29年度第3四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
- ⑨ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑩ 不祥事件にかかる島根県からの注意喚起文書の受領について
- ⑪ 平成29年18号台風にかかる報告について
- ⑫ 平成29年8月末月次決算報告について
- ⑬ 特別損失にかかる会計処理について
- ⑭ 小水力発電所改修工事業者の決定について
- ⑮ 総代選挙の実施結果について
- ⑯ 平成29年度下期主な会議日程の一部変更について
- ⑰ 平成29年度「地域貢献・地域活性化団体活動表彰」受賞団体の決定について
- ⑱ 新退職金制度の設計方針について
- ① 農政をめぐる情勢について
- ② 収入保険制度の概要について(現状報告)
- ③ その他 青年理事による活動報告等

組合員アンケート調査へのご協力のお願い

JAしまねでは、より地域と一体となったJAであることを目指して、無作為に選ばせていただいた組合員の皆さま6,000名を対象にアンケート調査を実施させていただきましたことといたしました。

本年12月中旬に、対象者の皆さまに郵送にてアンケート調査票を送付させていただきますので、お忙しいこととは存じますが、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

JAしまねびより10月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P7. 第11回 全国和牛能力共進会 結果報告 第7区 (総合評価群:肉牛群) 出品No.7 JA仁多肥育センター (誤) 雲南市 → (正) 奥出雲町
 謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

知って納得JA ー協同組合の力ー

Q JAはなぜ銀行や保険会社のような事業をしているの?

A 信用・共済事業を通じて、組合員の営農とくらしを守り、より豊かにするためです。

協同組合のルーツの一つは信用・共済事業です。特に農村では、地域の人々がお金や米を出し合って積み立て、そこから困った人がお金を借りたり、災害に遭われた人にお金や米を援助したりするなどの仕組みが、草の根的につくられてきました。こうした地域の「相互扶助」の仕組みが、信用・共済事業として発展してきました。

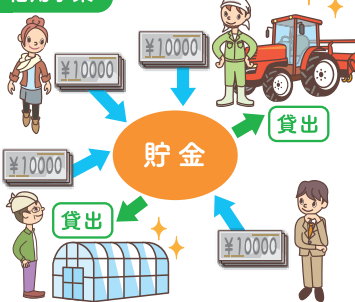
JAの信用事業は、組合員間で資金を積み立てて融通し合うので「相互金融」と呼ばれ、組合員の営農やくらしに役立てられています。

JAの共済事業は、互いを信じ救い合う「相互扶助」の精神の下で行う非営利事業です。組合員のくらしを守るため、「ひと」「いえ」「くるま」などの保障を充実させています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

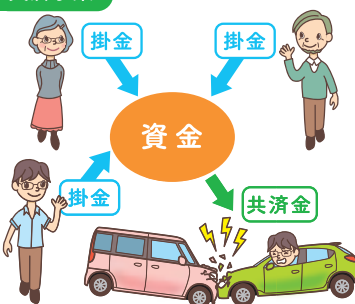
「協同の精神」に基づいて行われる JAの信用・共済事業

信用事業



JAとJA信連、農林中央金庫(農林中金)は「JAバンク」を構成して、金融機関として機能しています。JAバンクはグループ全体のネットワークと総合力で、農林水産業や国民経済の発展に貢献しています。

共済事業



JAとJA共済連が共同で共済契約を引き受け「JA共済」として保障を提供しています。JAはJA共済の窓口として各種手続きを行い、JA共済連は各種の企画、仕組み開発、資金運用、支払い共済金にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

耕そう、大地と地域の暮らし。

JAしまね統合2周年企画旅行

出雲縁結び空港より



直行チャーター便で行く!!



「はての浜」久米島と宮古諸島5島巡り

現地では
JAしまね統合2周年企画として
JA特産品が当たる
抽選会を実施!!

(宮古島・伊良部島・下地島・池間島・来間島)

3日間

2泊とも2名様より1部屋をご用意

旅行実施日 平成30年

2月21日(水)~23日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点、税込)

149,800円

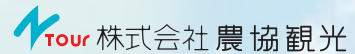
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けれます。

西部地区(島根おち・いわみ中央・西いわみ)より便利な送迎プラン

島根県西部地区より出雲縁結び空港まで往復8,000円(税込)にて送迎バスをご利用いただけます。(配車場所についてはお問い合わせ下さい)
※送迎バスプラン希望者が20名様を上回る場合、運行されず、19名様以下の場合、お客様自身で出雲縁結び空港迄お越し下さい。

掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!



- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| JAしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041 | JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305 | JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008 |
| JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699 | JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625 | JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820 |
| JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118 | JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 | JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587 |



JAしまね

定期貯金

あったか キャンペーン 2017

キャンペーン期間 2017.11.1(水)-12.29(金)

期間中、定期貯金(20万円以上)を
新規でご契約いただいた方に
最大3つの特典プレゼント!!

特典1 もれなくちよリスグッズプレゼント!!



さらに
給与振込・年金受取・年金予約・
各種ローン・JAカード・ネットバンクの
いずれかのお取引がある方、または、
期間中に新たにいずれかのお取引をご契約いただいた方
特典2・3をプレゼント!!

特典2 ちよリスグッズプレゼント!!



特典3 ご契約いただいた方の中から
抽選でプレゼント!!

美味しく食べよう島根のお米

ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。

10名様 高級炊飯器&島根米のセット



600名様 島根県産
ごはんのお供セット



懸賞要領

対象商品/定期貯金(期間1年以上)、結いの恵み
※上乗せ金利の適用があるものを除きます。
※窓口でお預け入れいただいたものに限りです。

応募対象者/・期間中、定期貯金を新規で20万円以上契約または、20万円以上増額された個人の方。
・期間中、結いの恵みを新規で契約された個人の方。

賞品内容/10名様に高級炊飯器&島根米のセットをプレゼント
600名様に島根県産ごはんのお供セットをプレゼント

応募方法/対象商品ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。

当選発表/平成30年1月下旬頃、ご当選された方に対し当選通知をお送りします。

抽選権の失効/抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。

個人情報の取扱/取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。

エリンギパスタ



エリンギの輪切りとみじん切り二つの食感が楽しめるパスタです。キュッキュとエリンギの音がするまで炒めましょう。

●材料 (2人分)

パスタ	160g	にんにく	1かけ
エリンギ	1パック	オリーブ油	大さじ2
ミニトマト	1/2パック	塩	少々
トマト	1個	こしょう	少々
合いびき肉	80g	大葉	2枚

●作り方

- ①エリンギは1cmの輪切りにし、上の部分は粗いみじん切りにする。
- ②ミニトマトは横に半分切る。
- ③トマトは皮付きのまま、ざく切りする。
- ④にんにくはみじん切りにする。
- ⑤塩を入れた湯でスパゲッティを茹ではじめる。
- ⑥フライパンにオリーブ油、にんにくを入れ火にかける。
- ⑦合いびき肉を入れ炒める。
- ⑧エリンギは、塩を少し入れ炒める。
- ⑨ミニトマトを入れ炒め、少ししたらトマトを入れ炒める。
- ⑩塩、こしょうをしてパスタを絡める。
- ⑪ぎざんだ大葉をのせる。

ほうれん草のミルクポタージュ



緑色の体も心も温まるスープです。ほうれん草嫌いなお子様でも食べられるかもしれません。鉄分たっぷりなほうれん草の青臭さもなくなり、したくなる優しい味のスープです。

●材料 (4人分)

ほうれん草	1束	牛乳	3カップ
長ねぎ(斜め薄切り)	1/2本分	生クリーム	1/2カップ
オリーブ油	大さじ1	塩、こしょう	各少々
米粉	大さじ3	生クリーム(仕上げ用)	適宜
固形スープの素	1個		

●作り方

- ①ほうれん草はゆでて3cmの長さに切る。
- ②鍋にオリーブ油を熱し、長ねぎを炒める。しんなりしたらほうれん草と米粉を入れ炒める。
- ③水1カップと牛乳、固形スープの素を加え、鍋底をへらでときどきかき混ぜながら、弱火で煮る。
- ④火を止め、バーミックス又はミキサーでなめらかにつぶし混ぜる。
- ⑤鍋に戻し生クリームを加えて温め、塩、こしょうで味を調える。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、隠岐郡西ノ島町にある焼火神社(たぐひじんじや)です。一条天皇の時代(1000年頃)の創建と伝えられています。本殿は山腹の岩窟に半ば埋もれるように建てられており、本殿・通殿・拝殿からなる社殿は国の重要文化財に指定されています。また、神社一帯は県の天然記念物に指定されています。

編集後記

今月のトピックスに掲載した子育てフェスinいわみには、当部署からも出店しました。JAグループの子ども雑誌『ちゃぐりん』に掲載されている工作を子どもたちにとって遊んでもらいましたが、準備した工作セットが昼過ぎにはなくなってしまうほどの大盛況でした。(藤)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

